

令和2年度三重大学国際交流事業実施報告書（学内版）

1. 申請部局

学部・研究科名等：工学研究科

事業担当者の職・氏名：工学研究科長 池浦良淳

工学研究科国際交流委員会委員長・中村浩次

内線電話番号：6715

電子メール：nakamura.kohji@mie-u.ac.jp

2. 事業の名称（20字以内，別に副題を付けても良い）

遠隔授業・研修等を通じた国際化学教育の推進

3. 事業内容の別（該当するところにチェックを入れてください。）

教職員，学生の海外派遣（学会やシンポジウム等の出席は除く）

海外交流機関等からの教職員，学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

4. 事業の取組結果

(1) 事業概要 (簡潔に事業全体の概要がわかるように記述してください)

工学部・工学研究科における国際化学教育の充実化に向けて、本事業では、本学学生と海外大学・機関との国際交流の場の提供、本学学生の英語による専門科目の理解や海外志向への動機づけ、優秀な留学生を獲得する体制づくり等を目的に、遠隔授業や遠隔研修を通じた国際交流事業を展開させる。

(2) 事業の背景・これまでの実績

工学部・工学研究科における国際化学教育の充実化や国際交流の継続を図るために、COVID-19の影響を避ける代替プログラムとして、遠隔による授業や研修の事業を実施する。

(3) 事業実施結果

本年度、以下のとおり、実施した。

① 遠隔授業「量子力学Ⅰ」の実施

2021年1月21日に、外国人教師による、電気電子工学コース2年生(受講生110名)の授業「量子力学Ⅰ」を実施し、専門工学科目の理解を英語で深めた。講師はインドネシア・バンド工科大学の Pradipto 博士に依頼した。

(実施担当：電気電子工学コース・中村浩次)

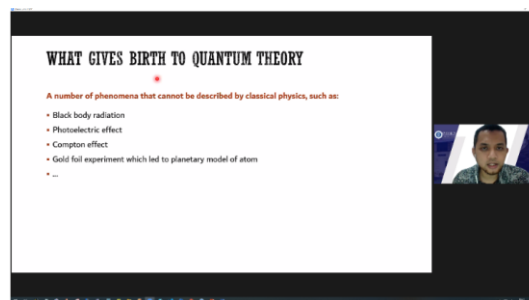


図1. 遠隔授業「量子力学Ⅰ」

② 遠隔研修「さくらサイエンスプログラム」(科学技術振興機構)の実施

2021年1月6-8日に、「次世代情報通信・エネルギーを支えるアジア・マテリアルズ・ネットワークの構築」をテーマとした材料設計シミュレーション研修や地域・文化等の情報交流会を行った。インドネシア・バンドン工科大学、ガジャ・マダ大学、インドネシア科学院から14名、本学から15名参加した。(実施担当：電気電子工学コース・中村浩次)

https://ssp.jst.go.jp/report2020/k_vol022.html



図2. 遠隔研修「さくらサイエンスプラン」の実施

③ 遠隔授業「Research Progress Meeting by Lab. Students」の実施

2020年12月18日に、電気電子工学科の卒業研究の一環として4年次の学生の英語による成果発表を行った。アメリカ・カザフスタン・スリランカに在住および日本で勤

務している数名の外国人の教授・博士が参加、本学から4年生10名、院生3名が発表した。（実施担当：電気電子工学コース・川中普晴）

④ 遠隔研修「ハノイ大学における三重大学工学部紹介」の実施

2020年11月17日に、工学部とハノイ工科大学のT.P.の一環として、日本国内のコンソーシアム参加大学の3年次へ編入学（令和3年度4月予定）を希望している受験生（20～30名）に対して、三重大学工学部への編入学の動機付けを目的として本学の紹介やT.P.編入学生の様子等の説明を行った。例年、担当教員とT.P.による本学の編入学生がハノイ工科大学に赴いて説明をおこなうが、本年度はオンライン（ZOOM利用）で実施した。（実施担当：機械工学コース・中西栄徳）

（4）事業の意義

本事業の意義は、本学学生と海外大学・機関との国際交流の場の提供、本学学生の英語による専門科目の理解や海外志向への動機づけ、優秀な留学生を獲得する体制づくり等の持続的展開を図ることにある。

（5）事業の発展性

本年度のオンラインによる授業・研修の実施は国際化学教育の充実化を図るうえで重要な位置づけにあった。来年度以降も、個々の教員等による遠隔授業・研修の、対面実施も含め、継続を図る。

（6）中期目標・中期計画における位置づけ

以下、中期目標4その他の目標（1）グローバル化に関する目標に該当

1（大学と地域のグローバル化推進）世界で活躍できるグローバル人材を育成し、国際教育・国際共同研究を充実させるために、地域社会や世界各国の大学との交流活動を活発化させ、海外の大学等との学生と研究者の相互交流を増加させる。

2（海外大学との交流の実質化）国際交流活動により、多様な考え方を理解できる人材を育成し、国際的な連携研究を促進させ、新規研究課題を発見・解決するために、海外の大学との戦略的なパートナーシップを構築する。

（7）その他

特になし。